クレア支部

第12回海外福岡県人会世界大会
～各国の福岡県人会が母県へ、ルーツ誇りに未来へつなぐ～

福岡県政策企画部国際局国際政策課

第12回海外福岡県人会世界大会

2025年11月5日から11月8日までの4日間、福岡県では6年ぶりとなる海外福岡県人会世界大会が開催されました。1992年度から3年ごとに開催されてきたこの世界大会は今回で12回目を迎え、世界各地で活躍する本県出身者にとって大切な交流の場となっています。

本大会には、20カ国・地域から27県人会が参加し、海外からの参加者は過去最多となる約370人となりました。

本大会は、「ルーツは福岡　夢は世界へ　～繋がる世代広がる未来～」をテーマに掲げ、福岡県をルーツに持つ人々にとってかけがえのない心の拠り所となる県人会を、いかに次の世代につなげていくか、そのことを幅広い世代の人々がともに考える機会としました。

こうした世代間のネットワークづくりとともに、本大会では、将来の県人会を担う若者の育成につなげるため、県内の若者と交流するプログラムを新たに設けました。

海外福岡県人会とは

海外福岡県人会は、戦前・戦後にかけて北米・中南米への移住者が現地で互いに助け合いながら生活していくために組織した「移住県人会」（※図中赤丸）と、海外で活躍する企業の駐在員などで組織される「企業県人会」（※図中青丸）があります。現在、これらを合わせ世界24の国・地域に39の県人会が設立されています。

図：世界各地に広がる海外福岡県人会
（出典：公益財団法人福岡県国際交流センター）

本県からの移住者は5万人以上に上り、広島、沖縄、熊本に次いで全国で4番目に多いです。最も長い歴史を誇るシアトル・タコマ福岡県人会（1907年発足）をはじめとする移住県人会の歩みは、移住者たちの苦難の歴史とも言えます。

移住した人々は全く異なる言葉や生活習慣といった厳しい環境の中、福岡県人としての誇りを持ち続け、勤勉さと誠実さで困難を乗り越えてきました。

移住から長い年月を経て、近年は多くの県人会で世代交代や高齢化などの課題に直面しています。3世や4世以降になると、日本語や日本の伝統、文化を知らない若者も増えています。こうした中、県人会は県が行う交流事業に積極的に参加し、自らのルーツに誇りを持つ後継者の育成に取り組んでいます。

大会のプログラム

大会期間中は、記念式典・歓迎レセプション、移住県人会青年の集いや、県人会がある各地の料理や文化を紹介する海外福岡県人会フェアなど多彩な行事を開催しました。

大会初日の記念式典・歓迎レセプションでは、参加者を歓迎して、県内高校生による合唱や生け花パフォーマンスをしました。

歓迎レセプションの様子

若者交流イベントの様子

ふるさと巡りの様子

2日目には、海外で活躍する県人会員から世界の最新の経済動向を学ぶとともに意見交換を行うビジネスセミナー・ビジネス交流会を開催しました。インドネシア福岡県人会、南加福岡県人会（南カリフォルニア）の会員による現地ビジネスに関する講演が行われたほか、交流会では、県内企業が自社の商品を県人会員にPRし、今後のビジネスにつながる活発な意見交換が行われました。

また、本大会の新たな試みとして「若者交流イベント」を開催しました。これは、県人会の世代交代や高齢化といった課題に対応するため、次代を担う青少年の相互交流を促進し、県人会を活性化させることを目的としたものです。当日は、海外県人会の若手会員と県内学生、総勢80人が一堂に会し、若手県人会員による自国紹介や、JICA九州主催の派遣事業にて南米を訪問した県内大学生による現地交流体験の発表、意見交換などを行い、相互理解と友好を深めました。

3日目の「ふるさと巡り」では、県内4つの地域（北九州・福岡・筑後・筑豊）に分かれ、県人会員ゆかりの人の出身地の歴史や文化に触れました。

大会最終日の「さよならパーティ」では、大会に参加した県人会一同による「福岡宣言」が発表され、今後も将来の県人会を担う青少年の育成を図ることや次回の世界大会を2028年にハワイで開催することが宣言されました。最後に参加者全員で炭坑節総踊りや「ふるさと」を合唱し、母県・福岡と各県人会の絆、そしてビジネスをはじめとする幅広い連携を深めた大会は、大盛況のうちに幕を閉じました。

今後のビジョン

グローバル化が進展する世界の中で、本県が今後さらに海外からの企業誘致、優秀な人材の確保、観光客誘致といった具体的な取り組みを進めるにあたり、県人会は県と世界各地との交流の懸け橋として、貴重な財産と捉えています。

本県では、県人会とのネットワークを強化するとともに、将来の県人会を担う人材を育成するため、県費留学生制度（県人会会員の子弟を県内大学などの留学生として受け入れる事業）や子弟招へい事業（同会員の小学校高学年のこどもたちや青年リーダーを県内に招へいする事業）などを実施しています。また、本県の青少年派遣事業の受入先として、県人会に現地での支援をいただいており、グローバル人材の育成でも県人会と連携しています。今回の大会を契機に、今後もこのような取り組みを通じてビジネスや青少年の育成など幅広い分野での交流を一層促進してまいります。

海外福岡県人会の若者会員による「青年の集い」の様子